



木本 光則

勤務先：

株式会社ドーコン

環境保全部

〒004-8585 札幌市厚別区

厚別中央1条5丁目4番1

号

TEL 011-801-1572

FAX 011-801-1573

E-mail: mk1424@docon.jp

専門：環境部門（環境影響評価）

1. 自己紹介

私は、1975年（昭和50年）和歌山県和歌山市で生まれ、父親の転勤に伴い11カ月で引っ越し、以降、千葉県鎌ヶ谷市（日ハム2軍のいる街）で育ちました。県内にある私服登校の許されていた県立高校に通い、大学への進学を機に北海道札幌市（日ハムの本拠地）へと移住し、現在に至ります。

中学時代は生徒会長を務め、県内弁論大会に出場したりしていました（今思えばよくやったと思いますが）。高校時代は落語研究部、軽音楽部、ボランティア活動サークルの3つを掛け持ち、落語の定期口演、コント、ライブ、老人ホーム慰問等を行っていました。大学時代は劇団に所属し、役者・制作スタッフ等をやっていました。段々と不真面目な方向へと進み、技術士とはかけ離れた世界ではありましたが、人前で話すこと、何かを伝えることが好きだということは、現在も含め、一貫しているように思います。

2. 専門分野

大学は、北海道大学工学部衛生工学科へと進み、大学院修士課程、工学研究科都市環境工学専攻を修了しました。全国を対象とした酸性雨の観測結果を用いましたが、モニタリング網の設計や評価といったことを統計的に解析する方法について研究していました。

株式会社ドーコンへ入社後、環境保全部に配属さ

れ、以降、主に道路事業や廃棄物処理施設等のプラント建設事業、ダム事業等の環境影響評価に関する業務に携わっています。工学系出身ということもあり、大気質や騒音、低周波音、振動、日照障害といった、公害系のものを扱うことが多かったのですが、数年前より、動植物・生態系の分野、景観、人と自然との触れ合いの活動の場といった項目も手がけています。

3. 技術士受験の動機、今思うこと

私の受験動機は、「業務上必須の免許取得」と「自分の腕試し」でした。近年、技術士という資格は持っていることが必須、車の運転免許のような存在になってきたように思います。

自分の腕試しという点については、合格して技術士となった今、確かに一定レベルに到達しているという評価をいただいたのかも知れませんが、むしろこれからが腕試しでは、と考えています。技術士の先輩方の活躍をみると、同じ技術士の称号を得ても自分の数段上のレベルにいる、と痛感するばかりです。

継続研鑽にもつながると思いますが、技術士になることではなく、技術士になって何をしていくか、を目標にして、日々努力していこうと考えています。

4. 最後に

まず、私が技術士試験の受験にあたり、特に口答試験へ向けていろいろとご指導して下さった先輩技術士の方々に、この場をお借りしてお礼申し上げます。

また、環境影響評価という専門分野での技術士は、新設科目のため、まだ全国にも10数名しかおらず、その点、自分にかかる責任も大きいと考えています。技術士として自分が活躍していくにあたっては、まだまだ未熟なところが多いです。そのため、今後も先輩方のお力をお借りすることも多いと思いますが、今後も今までと同様、ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。